

I 第35週の発生動向 (2015/8/24~8/30)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が発令され、県内すべての保健所管内で**警報**が発令されました。
2. ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の68人から96人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。
3. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症については、東地方+青森市保健所管内で1人の患者報告がありました。

II 第35週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ															0
RSウイルス感染症					5	0.50			4	0.67			9	0.21	0
咽頭結膜熱	1	0.13			4	0.40			1	0.17	1	0.25	7	0.17	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.13	6	0.67	19	1.90			1	0.17	1	0.25	28	0.67	4
感染性胃腸炎	11	1.38	8	0.89	9	0.90	13	2.60	12	2.00	8	2.00	61	1.45	-9
水痘	1	0.13	1	0.11	4	0.40	1	0.20			2	0.50	9	0.21	5
手足口病	80	10.00	130	14.44	97	9.70	43	8.60	114	19.00	100	25.00	564	13.43	14
伝染性紅斑	2	0.25	1	0.11	1	0.10			1	0.17	3	0.75	8	0.19	-5
突発性発しん	2	0.25	4	0.44	3	0.30			1	0.17	3	0.75	13	0.31	-14
百日咳			1	0.11									1	0.02	1
ヘルパンギーナ	35	4.38	20	2.22	6	0.60	16	3.20	1	0.17	18	4.50	96	2.29	28
流行性耳下腺炎	1	0.13									4	1.00	5	0.12	1
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	3	1.50			1	0.50			6	0.55	-3
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎					1	1.00					1	1.00	2	0.33	-1
無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市1人、八戸3人、上十三2人(2015年計:202人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):東地方+青森市2人(2015年計:43人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患):八戸1人(2015年計:12人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患):東地方+青森市1人(2015年計:1人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患):弘前1人(2015年計:14人)

IV 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・手足口病患者(咽頭ぬぐい液、8/20~8/21)・・・コクサッキーウイルスA6型:弘前(1)、むつ(1)
- ・急性脳症患者(気管吸引液、8/4)・・・HHV7:八戸(1)

感染症の窓

流行性角結膜炎(五類定点把握疾患)

流行性角結膜炎は、アデノウイルス8、19、37、4型などによる眼感染症で、主として手を介した接触により感染します。別名『はやり目』とも呼ばれます(右図)。

感染すると約1~2週間の潜伏期間後、急に発症し、結膜の浮腫や充血、流涙を伴います。感染力が強いため両目が感染しやすいが、初発眼の方が症状が強く、耳前リンパ節の腫れも伴います。発症後2~3週間で治癒することが多いが、角膜に炎症が及ぶと透明度が低下し、混濁が数年に及ぶことがあります。また、新生児や乳児では偽膜性結膜炎を起こし、細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすので注意する必要があります。

8月を中心として夏に発生が多く、今年の定点当たり報告数(人/定点)の全国平均は第34週(8/17-8/23)に1.15まで増加しました。青森県においては毎週1人~11人の幅で報告数が推移しています。全国的には1歳~5歳を中心とする小児に多い傾向がありますが、青森県では年齢を問わず患者が発生しており注意が必要です。

予防対策は眼疾患患者の分泌物の取り扱いと処理に注意し、手洗い、消毒をきちんと行うなど接触感染予防の徹底です。【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP



図:アデノウイルス8型による結膜炎(出典:国立感染症研究所HP)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第25週～2015年第35週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	H27.6.15 ~ H27.6.21		腸管出血性大腸菌 感染症3人	侵袭性肺炎球菌感 染症1人			細菌性赤痢1人
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	腸管出血性大腸菌 感染症1人				侵袭性肺炎球菌感 染症1人	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	腸管出血性大腸菌 感染症12人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人			カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	腸管出血性大腸菌 感染症7人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19		アメーバ赤痢1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
30	H27.7.20 ~ H27.7.26			カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2		急性脳炎1人		破傷風1人		
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	腸管出血性大腸菌 感染症1人		カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症4人	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	アメーバ赤痢1人		水痘(入院例)1人	レジオネラ症1人		
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	腸管出血性大腸菌 感染症2人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	侵袭性肺炎球菌感 染症1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第25週～2015年第35週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	H27.6.15 ~ H27.6.21	2		1			
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	2		3		2	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	2	2	2			1
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	1		1			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19	2		1	1	2	
30	H27.7.20 ~ H27.7.26		1	2			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2	2	1			1	1
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	1	2	3		1	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	1	1				1
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	3	1	1	1	1	
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	1		3		2	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第33週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コクジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	野兔病	ライム病	レジオネラ症	
累積報告数	15038	3	96	2039	22	23	124	169	8	5	3	2	40	11	74	151	94	4	24	1		6	924
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性ケブトコックス症	破傷風	ハンコマイシム耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	9	686	156	895	329	9	109	284	887	46	158	22	1548	201	1447	71	68	37	120	27			22

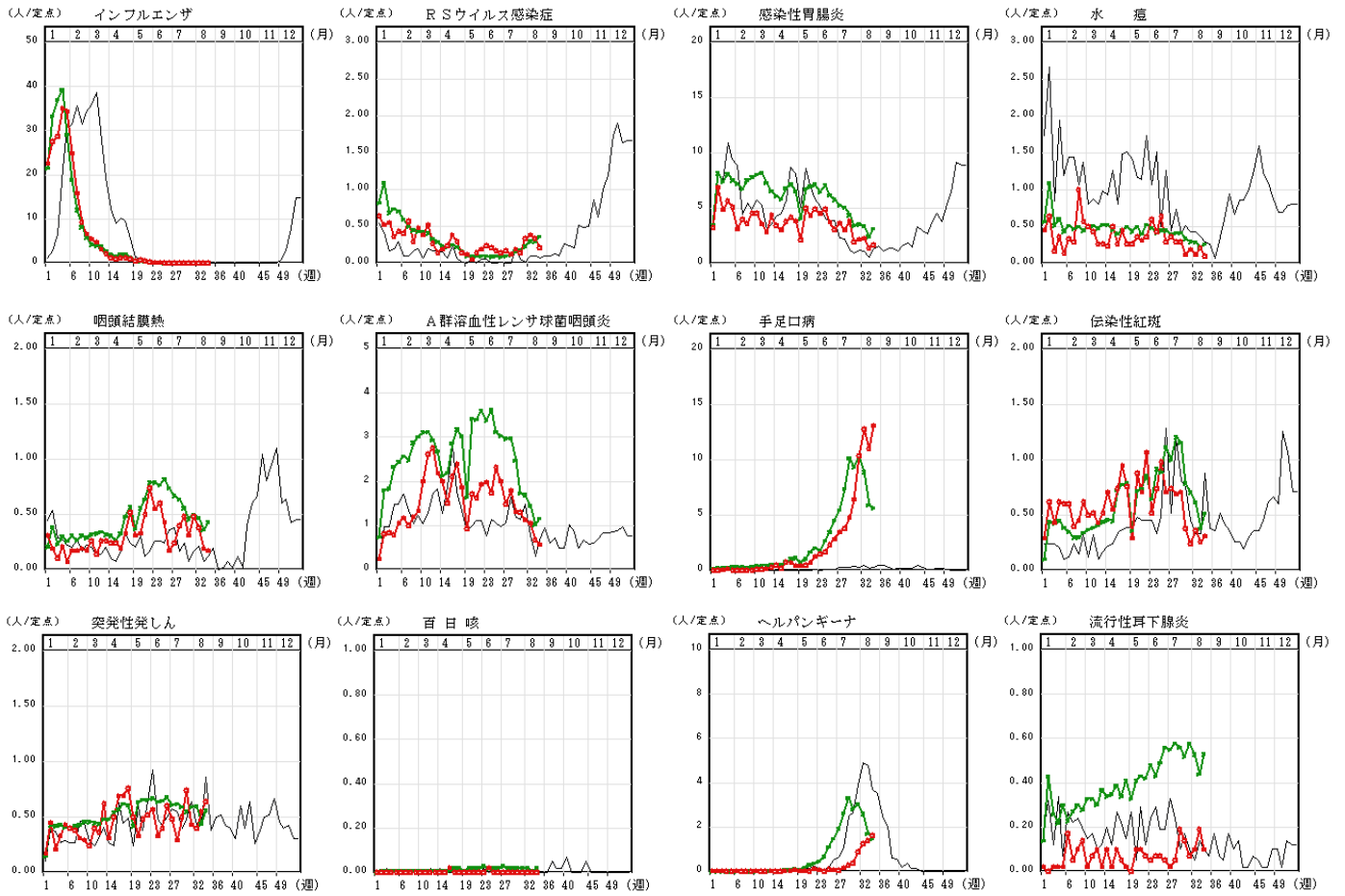
青森県

(2015年第1週～第35週累計)

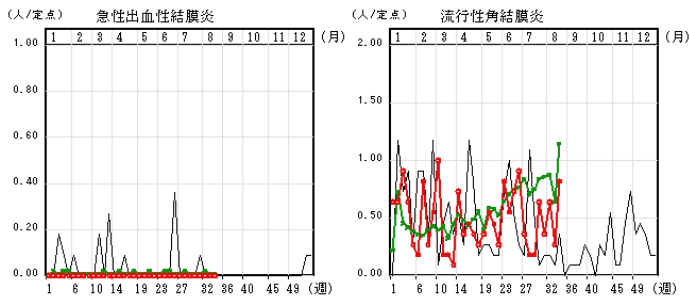
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風					
累積報告数	202	43	1	8	2	7	1	12	2	1	1	2	2	14	3	5	1					

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第34週)

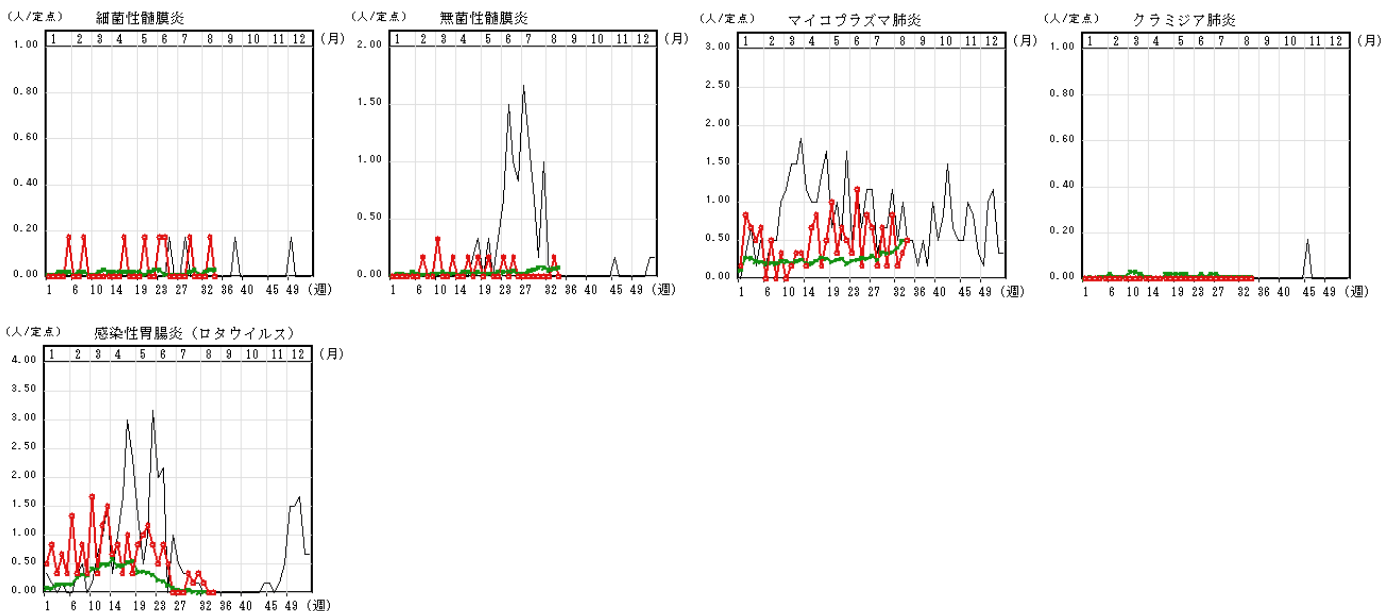
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第34週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第34週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第35週は報告がありませんでした。

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31週	32週	33週	34週	35週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	0	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	0	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	0	0	0	428